

# Ploneの魅力

1. オープンソースだから => 詳細別紙
2. コミュニティが健全だから
3. ユーザーインターフェースが秀逸だから
4. 簡単にサイトが作れるから
5. カスタマイズの幅が広いから

# オープンソースの魅力

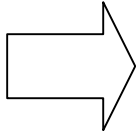
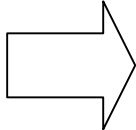
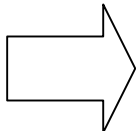
1. 安心して使える。長期的な継続利用がユーザー側でコントロール可能である。(ベンダーにバージョンアップの実質的強制権を握られていない)
2. 教育的であり、組織内にスキルが蓄積される。ソースを読むので社内プログラマーが育つ。
3. コミュニティの参加者に多様性が生まれる。ビジネスだけでなく、NPOや個人も。
4. 文化的にコラボレーションが得易く、大局的に重複作業が減り、総コストの低下につながる。

# 優秀なプログラマを育てる

1. 良い絵を描くには、良い絵をたくさん見る事
2. 良い文章を書くには、良い文章をたくさん読む事
3. 良いプログラムを書くには、良いプログラムをたくさん読む事

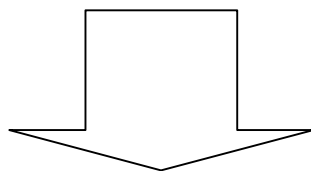
世界レベルのオタクが書いたプログラムは最高の教育材料となる。どんな解説より生コードが一番のごちそう。

# 社会基盤って何？

- ハードウェア  道路、橋、鉄道、学校、集会所、  
大型建築物、
- システム  水道、下水、ガス、郵便、電気、  
電話、インターネット
- ソフトウェア  業務アプリケーションの  
開発実行プラットフォーム

# 社会基盤に必要な要件

1. 完全に公開された標準の元で誰でも資本と技術があれば供給できるものか？
2. 大きなコストを掛けずに、モジュールとして他者の同等品と交換可能であるか？

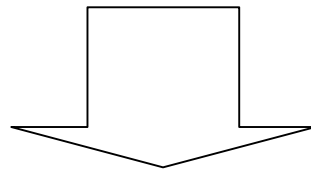


1. 独占的なライセンスでバイナリしか配布しないソフトウェア製品は社会基盤として必要な要件を満たさない。(社会基盤という位置づけでなく、業務効率化の便利道具としてなら問題は無いが)

# 社会基盤としてあるまじき状況

ただの便利ツールとしてなら許されるが。。。。

1. DOS5を使ってシステムを組みたいがDOSが手に入らない。
2. Windows 3.1用のアプリを組みたいがWindows 3.1が手に入らない。



妥当な価格で未来永劫に渡ってサポートされ得ることが必要。(オリジナルの供給者でなくてもかまわない)

オープンソースなら、どこかに古いソースはあるし、合法的に入手利用でき、誰かにサポートを頼める。

## つまり

社会基盤となるには開発者にとってビジネスにならない部分のサポートも重要。

自分がビジネス的にサポートしないのなら、他の誰でもがサポートできるようにすればいいのに。。。

⇒新しいバージョンのソフトウェアが売れなくなるからやらない。  
(利用者の都合より、自分の短期的利益)

**結局、ソフトウェア供給企業の倫理観の問題**